

平生町公共ライドシェア実証運行事業業務委託プロポーザルに関する質問と回答

	質問	回答
1	(4) システムの提供範囲・②にあるドアツードア型の乗降方式とは、自宅から乗降ポイント、乗降ポイントから自宅、乗降ポイントから乗降ポイント間の3パターンの乗降という理解で合っていますか。また、自宅を指定できるのは利用者すべてでしょうか。平生町民のみでしょうか。	ご認識のとおり、「ドアツードア型の乗降方式」は、利用者の希望に応じて出発地および到着地を柔軟に設定できる方式を想定しております。本事業における具体的な考え方としては、仕様書に記載のとおり、乗車地又は降車地のいずれかが平生町内である予約であって、平生町内は希望する地点を、隣接市町においては、あらかじめ設定した乗降ポイントのみを発着地として、ドアツードアでの乗降を可能とするものです。 したがって、乗降パターンとしては、 平生町内においては「自宅を含む任意地点 ⇄ 平生町内の任意地点」 自治体をまたがる場合は、「自宅を含む平生町内の任意地点 ⇄ 町外の所定の乗降ポイント」が想定され、いずれも条件（町内発着のいずれかを含む）を満たす場合で、平生町内における自宅を含む任意地点の指定については、本実証運行においては、利用者について「制限なし」としていることから、町民に限定せず、来訪者を含むすべての利用者が対象となる想定です。
2	(5) システムに関わる要件・①キ「通行不可道路の設定が可能であること」について、通行不可道路とはどういう道路状態を想定していらっしゃるのでしょうか。また、現在平生町で頻発する状況でしょうか。	本要件は、配車・ルート生成において通行が困難または不適切な道路を事前に除外できる機能を想定したものです。具体的には、以下のようなケースを想定しています。例えば、道幅が極端に狭く車両通行が困難な生活道路、災害や工事等により一時的に通行できない道路などを想定しております。これらは平生町において常時頻発しているというよりも、安全性確保および円滑な配車のための一般的な機能要件として設定しているものです。

3	①スにある距離別運賃設定について、具体的な設定イメージを教えてください。	距離別運賃設定については、運賃自体は公共交通会議にて決定予定です。その上で、本実証運行期間においては、利用者にとって分かりやすい料金設定とする観点から、町内一律、町外一律等のゾーン制運賃での運行を基本とすることを想定しております。一方で、実証運行の結果を踏まえた本格稼働段階においては、利用実態や運行コスト、ドライバーの収入確保等を総合的に勘案し、距離に応じた運賃体系（距離別運賃）へ見直す可能性も想定しています。このため、本業務においては、実証段階におけるゾーン制運賃、将来的な距離別運賃のいずれにも柔軟に対応可能なシステムであることを求めています。
---	--------------------------------------	---